

入 試 要 項

桐朋女子高等学校音楽科 (男女共学)

2017



目 次

	ページ
一般入学試験	2
一般推薦入学試験	4
入学試験科目・課題	6
試験日程表	14
出願書類記入上の諸注意	15
受験上の注意	17
練習室の貸出しについて	17
合格発表、入学手続、入学金・授業料等	18
特待生制度および奨学金制度・学生会館	19
宿泊施設	20
交通機関案内図	21

同封の書類等

- ・一般入学試験志願票・受験曲目票
- ・奨学金申請書
- ・桐朋学園音楽部門学生会館入居願
- ・出願書類送付用封筒
- ・受験証送付用封筒
- ・伴奏合わせ日時連絡用封筒
- ・検定料納金票 , (第2志望併願用)
- ・伴奏譜提出票
- ・調査書

この要項一式には一般推薦入学試験用の「志願票・受験曲目票・推薦書」を同封していません。出願予定者は、事務局教務課入試係 03-3307-4122に電話で請求してください。

一般入学試験

募集人員

第1学年 90名

(ピアノ専門、弦楽器専門、管楽器専門、打楽器専門、ハープ専門、声楽専門、作曲専門〈大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む〉)

出願資格

1. 中学校の課程を卒業した者(2017年3月卒業見込みの者を含む)。
2. 学校教育法第57条の規定により、高等学校入学に関し、中学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者。
3. 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者。
4. 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
5. 文部科学大臣の指定した者。
6. 学校教育法第18条(第40条第2項で準用する場合を含む)の規定により保護者が就学させる義務を猶予または免除された子女で、文部科学大臣が別に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者。
7. その他、中学校を卒業した者と同等の学力があると本校において認めた者。

選考方法

選考は試験(一般学科、専門科目、専門実技)による。

受験方法

次のうち、いずれかの方法を選んで受験する。

1. 専門実技第1志望のみを受験する。
2. 専門実技第2志望も受験する。

〔注〕出願後の変更は認めない。

試験日程

2017年2月15日(水)～2月17日(金) (14ページ参照)

試験会場

桐朋学園音楽部門 調布キャンパス (21ページ参照)

出願期間・方法

2017年1月25日(水)～2月3日(金) 【郵送に限る。2月3日郵送必着】

事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出願手続

1. 入学検定料納入方法

必ず銀行振込による。(同封の納金票①または②を使用する)

入学検定料 52,500円 (注) 専門実技第2志望も受験する場合………73,500円

- a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
- b) 納金票②票(領収証)は、銀行収納印をもって本校領収印に代える。

2. 出願書類

- a) 志願票・受験曲目票…………… 記入方法については、15～16ページ参照。
 - b) 納金票①票(受験証)…………… 納金票①を用いる。ただし、専門第2志望も受験する場合は納金票②を用いる。志願票と納金票①票(受験証)には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
●正面上半身脱帽 ●背景のないもの ●3カ月以内に撮影したもの ●タテ4cm×ヨコ3cm
 - c) 出身学校調査書…………… 本校の指定した用紙に中学校長が作成したもの。
(出願前3カ月以内に発行されたもの)
- [注] 中学校卒業・卒業見込み以外の者は、それに相当する修了(見込)証明書と成績証明書を提出する。
- d) 受験証送付用封筒…………… 受験者本人が受け取る住所を記入し、372円分の切手を貼付する。
 - e) 伴奏合わせ日時連絡用封筒… 受験者本人が受け取る住所を記入し、362円分の切手を貼付する。
ただし、無伴奏曲で受験する者は提出不要。
 - f) 伴奏譜(コピー譜可)…………… 弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、声楽の各受験生が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。伴奏譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいようにテープで貼る等、配慮のうえ提出する。詳細は16ページ参照。
 - g) 桐朋学園音楽部門学生会館 入居を希望する者のみ提出する。
 - h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

3. 郵送先・問い合わせ先

〒182-8510

東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋女子高等学校音楽科 事務局教務課入試係

電話 03-3307-4122 (ダイヤル・イン)

一般推薦入学試験

募集人員

第1学年 10名

(管楽器専門、打楽器専門、ハープ専門、声楽専門、作曲専門〈大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む〉)

出願資格

1. 中学校を2017年3月卒業見込みの者で、本学を専願する者
2. 専門として志願する楽器等演奏に関して優れた能力を有し、かつその学修に積極的な意欲をもつ者
3. 出身学校長が責任をもって推薦する、以下の条件を満たす者
 - ① 9教科の5段階評定の平均値3.0以上の者
基準となる成績は、3年の前期または2学期までの成績とする
 - ② 心身共に健康である者
4. 実技指導教員等が責任をもって推薦する者

選考方法

選考は試験(専門科目、専門実技、面接)による。

試験日程

2017年1月23日(月)〈伴奏合わせを含めてすべて1日で行う〉

試験会場

桐朋学園音楽部門 仙川キャンパス(21ページ参照)

出願期間・方法

2017年1月18日(水)【郵送に限る。1月18日必着】

事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出願手続

1. 入学検定料納入方法

必ず銀行振込による。(同封の納金票 \square)を使用する)

入学検定料 52,500円

- a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
- b) 納金票②票(領収証)は、銀行収納印をもって本校領収印に代える。

2. 提出書類

この要項一式には一般推薦入学試験用の「志願票・受験曲目票・推薦書」を同封していません。出願予定者は、事務局教務課入試係 03-3307-4122 に電話で請求してください。

- a) 志願票・受験曲目票 …………… 記入方法については、15～16ページ参照。
- b) 納金票①票（受験証）…………… 納金票 \square を用いる。
志願票と納金票①票（受験証）には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
●正面上半身脱帽 ●背景のないもの ●3カ月以内に撮影したもの ●タテ4cm×ヨコ3cm
- c) 出身学校調査書…………… 本校の指定した用紙に中学校長が作成したもの。
（出願前3カ月以内に発行されたもの）
- d) 推薦書…………… ①出身学校長が作成する「推薦書」（指定書式－出身学校調査書に同封する）
②実技指導教員等が作成する「推薦書」（指定書式）
以上2通を提出する。
- e) 伴奏譜（コピー譜可）…………… 管楽器、打楽器、ハープ、声楽の各受験生が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。
伴奏譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいようにテープで貼る等、配慮のうえ提出する。詳細は16ページ参照。
- f) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願 入居を希望する者のみ提出する。
- g) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書
申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒（各自で用意）に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

3. 郵送先・問い合わせ先

〒182-8510

東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋女子高等学校音楽科 事務局教務課入試係

電話 03-3307-4122 (ダイヤル・イン)

出願手続後について

1. 「受験証」は1月23日（試験当日）に交付する。
2. 1月23日の予定等については、1月21日（土）までに受験生にFAXで連絡する予定。
志願票には必ずFAX番号を記入のこと。

入学試験科目・課題

「一般入学試験」

＜入学試験科目＞

I. 一般学科	「国語」「英語」「数学」 1時間30分で3教科を解答する。辞書を使用することはできない。
II. 専門科目	(1) 楽典 (1時間) (2) 新曲視唱 (原則として固定ド唱法を用いるが、移動ド唱法を用いてもよい。) (3) 聴音 (1時間) a) 旋律の書き取り b) 和音および和声の書き取り 【課題の内容・難易度は過年度入試問題集を参照のこと】 (4) 副科ピアノ実技 (ピアノ専門、作曲専門志願者を除く。) 課題については下記参照。
III. 専門実技	各専門実技課題については下記参照。

＜副科ピアノ実技試験課題＞

課題 自由曲1曲……ソナチネ・アルバム程度以上 (暗譜で演奏する)

＜専門実技試験課題＞

1 ピアノ

課題(1) 自由曲 (5分から10分程度とする)

課題(2) 下記 a) b) を演奏する。 —演奏する順序は自由—

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier 第I巻または第II巻より任意の1曲を演奏する。ただし、下記の曲を除く。

第I巻

No.4 cis-moll No.8 es-moll No.20 a-moll

No.22 b-moll No.24 h-moll

第II巻

No.4 cis-moll No.13 Fis-dur No.14 fis-moll

No.16 g-moll No.17 As-dur No.22 b-moll

b) Moszkowski : 15 Etudes op.72

Chopin : Etudes op.10,op.25(op.10-6,op.25-7は除く)

3 Nouvelles Etudes(3つの新しい練習曲)

上記の課題曲から、任意の2曲を演奏する。

※ 暗譜で演奏する。

※ 当日、演奏をカットすることもある。

※ 試験は、課題(1)と課題(2)に分けて行う。

2 弦楽器

以下の(1)と(2)を暗譜で演奏する。(コントラバスの課題は(1)のみ)

a) ヴァイオリン

(1) 以下の課題曲から1曲を演奏する。演奏曲は2月15日(水)午前9時30分に入試
掲示板に掲示発表する。

1. Rode : 24のCaprice から No.4
2. Bach : 無伴奏 Sonata No.1 よりプレスト (繰り返しなし)

(2) 以下のコンチェルトから任意の1曲の第1楽章または終楽章。ただし、Mozartに
限り、第1楽章。

1. Bruch : 第1番 g-moll
2. Ernst : fis-moll op.23 (独奏部分から第237小節まで)
3. Goldmark : a-moll op.28
4. Lalo : スペイン交響曲
5. Mendelssohn : e-moll
6. Mozart : 第3番 G-dur (カデンツァ付き)
7. Mozart : 第4番 D-dur (カデンツァ付き)
8. Mozart : 第5番 A-dur (カデンツァ付き)
9. Saint-Saëns : 第3番 h-moll
10. Vieuxtemps : 第2番 fis-moll
11. Vieuxtemps : 第4番 d-moll
12. Vieuxtemps : 第5番 a-moll (アダージョの前まで)
13. Wieniawski : 第2番 d-moll

b) ヴィオラ

(1) 練習曲 以下の中から1曲

1. Hoffmeister : Etude
2. Campagnoli : Caprice

(2) 任意のコンチェルトより第1楽章 または 終楽章

c) チェロ

(1) 任意のエチュード

(2) 任意のコンチェルト、コンチェルティーノ、コンチェルトシユトゥックの第1楽章
または終楽章。あるいは前古典派またはバロックのソナタの急速楽章と緩徐楽章。
上記の課題以外の条件で受験を希望する者は、出願時に当人の実技教師による理由
書を願書に添付し提出すれば、受験することができる。

d) コントラバス

(1) 任意の曲またはエチュード

3 管楽器

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

a) フルート

(1) E.Köhler : op.66 (Romantic Etudes) No.13,16 から当日指定する。

(2) 以下の6曲から任意の1曲

Böhm : Air Allemande op.22

Doppler : Trois Morceaux から op.16

Enesco : Cantabile et Presto

Fauré : Fantaisie op.79

Kuhlau : Introduction et Rondo op.98

Honegger : Danse de la Chèvre

b) オーボエ

(1) W.Ferling : 48 ETUDES No.8, 20 から当日指定する

(2) C.Saint-Saëns : Sonate for Oboe and Piano op.166 第1楽章

c) クラリネット

(1) C.Rose : 26 Etudes (Leduc社版)

奇数及び偶数番号より各1曲、計2曲を選択し、演奏する事

(2) 自由曲 1曲

d) ファゴット

(1) Julius Weissenborn

: Bassoon Studies for Beginners op.8 Vol.1 から

I の(c) Staccato の No.2, 5

(d) Portamento の No.3, 4

(e) Forte, Piano, Crescendo and Diminuendo の No.4

以上から当日指定する。

(2) 自由曲 1曲

e) サクソフォン

(1) Blemant : 20 Études Mélodiques (Leduc社版)

No.2, 15, 16 から当日1曲指定する。

(2) 自由曲 1曲

f) トランペット

- (1) R.W.Getchell: Practical Studies Vol. I Getchell & Hovey (Belwin Mills 社版)
No.42, 50, 57, 61 から当日指定する。
(2) 自由曲 1 曲

g) トロンボーン

テノール・トロンボーン

- (1) C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (版は指定しない)
No.4, 5, 11, 12, 18 から当日指定する。(いずれも繰り返しはしない)
(2) 自由曲 1 曲

バス・トロンボーン

- (1) O.Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (Carl Fischer 社版)
No.1b, 1d, 2, 3, 6 から当日指定する。
(2) 自由曲 1 曲 (8 分以内)

h) ユーフォニウム

- (1) Arban : Arban 金管教本 70~78 から当日指定する。 (全音楽譜出版社版)
(2) 自由曲 1 曲

i) テューバ

- (1) 以下の4曲から当日指定する。
C.Kopprasch : 60 Selected Studies for Tuba から No.4 (R.King社版)
V.Blazhevich : 70 Studies for Tuba から No.1, 2, 4
(2) 自由曲 1 曲

j) ホルン

- (1) Maxime-Alphonse : 第1巻 No.1~4 から当日指定する。 (Leduc社版)
(2) 自由曲 1 曲

4 打楽器

以下の(1)(2)(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

◎楽器は本校で用意したものを使用する。

- (1) 小太鼓 Modern School for Snare Drum より
STUDY IN EIGHTH NOTES II 4/4 Four beats a measure (P.5)
(2) マリンバ (課題曲は、11ページ参照)
(3) 自由曲 7分以内

b) マリンバ

◎楽器は本校で用意したものを使用する。

(1) 小太鼓 Modern School for Snare Drum より

STUDY IN EIGHTH NOTES II 4/4 Four beats a measure (P.5)

(2) マリンバ (課題曲は、11ページ参照)

(3) 自由曲 8分以内

5 ハープ

以下の(1)(2)(3)を暗譜で演奏する。

(1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音

(2) J.F.Nadernann : 24のプレリュード から 2曲

(3) 自由曲 1曲

6 声 楽

以下の課題を暗譜で演奏する。

◎コンコーネ50番 op.9 程度以上から2曲を母音で演奏する(調性を明記すること)。

ただし、そのうち1曲はイタリア古典歌曲にかえることができる。その場合は、曲名を原語で書き、調性を明記すること。

入学願書とともに提出する受験曲2曲の伴奏譜は各自でコピーして準備し、それぞれ「伴奏譜提出票」を貼付する。「伴奏譜提出票」については、16ページ参照。

7 作 曲

(1) 和声 ——ソプラノ課題、バス課題 各1題(ピアノ使用不可:計3時間)

(2) 与えられたモチーフによる任意の楽曲作曲(ピアノ使用可:3時間)

(3) 理論科ピアノ

1) J.S.Bach: 2声のインヴェンション、または3声シンフォニアから任意の1曲

2) 自由曲 1曲 : 1)と合わせて15分以内の楽曲とすること。

※1),2)ともに暗譜で演奏すること。

3) 新曲初見演奏 1曲(予見時間5分)

(4) 専門実技に関する面接

打楽器課題

演奏上の指示

課題(2) 「マリンバ」課題曲

・次の3種類の音階のうち、ひとつを当日指定する。

$\text{♩} = 108 \sim 120$

The image shows three staves of musical notation for a mallet instrument. Each staff begins with a dynamic marking 'f' and a triplet of eighth notes. The first staff is in 4/4 time with a key signature of one flat. The second staff is in 4/4 time with a key signature of two flats. The third staff is in 4/4 time with a key signature of one sharp. Each staff contains a melodic line with various rhythmic patterns and triplet markings.

「一般推薦入学試験」

<入学試験科目>

I. 専門科目	(1) 楽典 (1時間) (2) 新曲視唱 (3) 聴音 (1時間) (4) 副科ピアノ実技 (作曲専門志願者を除く) 自由曲1曲 (暗譜で演奏する)
II. 専門実技	各専門実技課題については下記参照。(作曲専門は楽器演奏を課す)
III. 面接	

<専門実技試験課題>

1 管楽器

a) フルート

一般入学試験に同じ

b) オーボエ

一般入学試験に同じ

c) クラリネット

一般入学試験に同じ

d) ファゴット

一般入学試験に同じ

e) サクソフォン

一般入学試験に同じ

f) トランペット

一般入学試験に同じ

g) トロンボーン

テノール・トロンボーン

一般入学試験に同じ

バス・トロンボーン

一般入学試験に同じ

h) ユーフォonium
一般入学試験に同じ

i) テューバ
一般入学試験に同じ

j) ホルン
一般入学試験に同じ

2 打楽器

a) パーカッション
一般入学試験に同じ

b) マリンバ
一般入学試験に同じ

3 ハープ

一般入学試験に同じ

4 声 楽

一般入学試験に同じ

5 作 曲

- (1) 作曲作品または和声課題の実施を提出
(両方または複数でも良い。作曲途中のものも可)
出願手続の際、出願書類とともに提出すること。
- (2) 専門実技に関する面接
その際、下記を演奏すること。
演奏（本校が設置している専門に限る）：8分以内の自由曲

試験日程表

- * 「一般入学試験」の専門実技試験受験順番・集合時刻等は2月14日（火）15時に発表する。
 ・本校調布キャンパス玄関に掲示発表 ・本校ホームページへの掲載（PDFファイル）

専門実技	推薦入学試験	一般入学試験		
	1 / 2 3 (月)	2 / 1 5 (水)	2 / 1 6 (木)	2 / 1 7 (金)
ピアノ	試験科目 すべて		9:30～ 実技	9:30～10:30 楽典試験
弦 (Vl, Va)		10:00～ 副科ピアノ *伴奏合わせ	10:00～ 実 技	
弦 (Vc, Cb)		10:00～ 副科ピアノ *伴奏合わせ	15:00～ 実 技	
管楽器		10:00～ 副科ピアノ *伴奏合わせ	15:30～ 実 技	11:00～12:00 聴音試験
打楽器		10:00～ 副科ピアノ *伴奏合わせ	15:30～ 実 技	
ハープ		10:00～ 副科ピアノ *伴奏合わせ	15:30～ 実 技	13:00～14:30 一般学科試験
声楽	10:00～ 副科ピアノ *伴奏合わせ	15:00～ 実 技		
作曲	9:00～12:00 作曲実技「和声」 13:00～16:00 「モチーフ」	13:00～ 理論科ピアノ、 専門実技に関する 面接 (理論科ピアノ終了後引き続き)	15:00～ 新曲視唱試験	

* 伴奏合わせの時間は個人別に通知する。

出願書類記入上の諸注意

- ◎ 志願票・受験曲目票は切り離さない。
- ◎ で囲まれた項目を自筆で正確に記入する。
- ◎ 一般推薦入学志願者は「一般推薦入学試験志願票」を使用すること。

志願票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」・・・志願票裏面の「楽器略語・コード表」に従って記入する。
一般入学試験で第2志望でも受験する場合は第2志望の「楽器略語・コード表」も記入する。
2. 「受付番号」(※印欄)・・・記入しない。
3. 「氏名」・・・・・・・・・・・・戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
4. 「性別」・・・・・・・・・・・・女、男を○で囲む。
5. 「生年月日(西暦)」・・・西暦で年月日を記入する。年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
6. 「出願資格」・・・・・・・・・・該当する番号を○で囲む。卒業・卒業見込みまたは修了した年を西暦で記入する。
7. 「出身学校」・・・・・・・・・・所在地、電話番号、学校名を記入する。
8. 「学生会館申請」・・・・・・・・入居を希望する者は申請欄に○を記入する。
9. 「奨学金申請」・・・・・・・・奨学金を申請する者は申請欄に○を記入する。
10. 「保護者」・・・・・・・・・・緊急時には保護者に連絡をとる場合もあるので、氏名、住所、電話番号、メールアドレスを明記する。
11. 「写真」・・・・・・・・・・・・大きさはタテ4cm×ヨコ3cm、3カ月以内に撮影した背景のないものを貼る。写真裏面に氏名を書いてから貼付する。
12. 「受験期間中の居所」・・・宿泊先の名称と電話番号を必ず記入する。志願票提出時に決まっていなかった場合、志願票提出後に変更のあった場合は、決まり次第届け出る。保護者の欄と同じ場合は「同上」と記入する。
13. 「本人の携帯電話」・・・緊急連絡で使用することがある。所持している場合は明記する。
14. 「楽器の使用希望」・・・コントラバスの受験生で、自分の楽器を使用する場合は「なし」を○で囲む。学校の楽器を使用する場合は「あり」を○で囲む。(一般入学試験のみ)
15. 「特別練習の希望」・・・コントラバス、パーカッション、マリンバ、ハープの受験生のうち、学校で練習を希望する場合は、「あり」を○で囲む。希望しない場合は「なし」を○で囲む。(一般入学試験のみ)
16. 「身体の障害」・・・・・・・・・・障害を持つ者で、受験に際して特別の措置を希望する場合は、その障害の区分、程度を記入する。
17. 「入学後の実技担当希望教師名」
本校において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教師名を記入する。ただし、希望通りにならない場合もある。

受験曲目票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」・・・・・・・・・・志願票と同様に記入する。
2. 「伴奏」
伴奏がつく楽曲の場合・・・・・・・・・・あり を○で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合・・・・・・・・・・なし を○で囲む。
3. 演奏する曲目のうち、自由曲、任意の曲については具体的・詳細に記入する。
ヴァイオリンの課題(2)については、指定された曲目のうち選択する曲目(作曲者)の番号と楽章を○で囲む。
ヴィオラの課題(1)については、指定された曲目のうち選択する曲目(作曲者)の番号を○で囲む。
4. 第2志望がある場合は、第2志望についても記入する。
5. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。
6. 「副科ピアノ」は、作曲者・曲目・調性・作品番号・楽章等を具体的・詳細に記入する。

伴奏譜提出票

1. 「区分」・・・・・・・・・・「高校」と記入する。
2. 「※受付番号」・・・・・・・・・・何も記入しない。
3. 伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」をコピーして楽譜ごとに貼付する。

伴奏合わせ日時連絡用封筒 (一般推薦入試の出願者は不要)

1. 「区分」・・・・・・・・・・「高校」と記入する。
2. 「楽器名等」・・・・・・・・・・専門する楽器名等を記入する。
3. 362円分の切手を貼る。

出願書類提出用封筒

伴奏譜が「出願書類提出用封筒」に入らない場合は、各自で用意した封筒を使用して送付する。その場合、伴奏譜・伴奏譜提出票以外の出願書類は「出願書類送付用封筒」に入れたうえで、伴奏譜を入れた封筒に同封する。

受験証返送用封筒 (一般推薦入試の出願者は不要)

372円分の切手を貼付し、配達先の住所と楽器名等を所定の場所に記入する。

受験上の注意

1. 出願者に、受験にあたっての詳細が記載されている『受験心得』を送付する。
2. 一般入学試験受験者は、2月14日（火）15時に専門実技試験受験順番・集合時間等を発表（校内掲示およびホームページ）するので、各自必ず確認すること。電話での問い合わせには応じない。
3. 自分の演奏曲の楽譜（必要な場合）、受験証、筆記用具、昼食（試験が昼食時間におよぶ場合）を持参する。
4. 一般入学試験受験者で第2志望がある場合は、特に記さない限り、各専門実技と併せて第1・第2志望双方の専門科目を受験しなければならない。例えば、ピアノを第1志望・管楽器を第2志望として出願した者は、ピアノおよび管楽器の専門実技試験を受験するとともに、副科ピアノも受験しなければならない。出願後の志望順位の変更は認めない。
5. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない。
6. 弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、声楽の伴奏者は本校で準備する。なお、一般入学試験受験者の伴奏合わせは2月15日（水）に行う。（詳細は『受験心得』を参照すること）
伴奏譜は、出願時に『伴奏譜提出票』を貼付して提出する。
伴奏合わせの集合時刻は、伴奏合わせ日の3日前までに当人宛に速達郵便で通知する。
7. 楽器の使用について
 - 1) ピアノ、小太鼓、マリンバ、ハープ以外は各自楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本校または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
学校の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」の「楽器使用の希望」に従い申し込む。
 - 3) コントラバス、パーカッション、マリンバ、ハープの受験生には希望により他の受験生とは異なる方法で練習室を貸し出す。「志願票の記入方法」（15ページ）を参照。
該当する出願者に別途連絡する。
8. 受験を取りやめる場合は、本校まで必ず連絡する。
9. 服装については、特に指定しない。

練習室の貸出しについて

申込方法：受付日の当日午後と翌日早朝の分について、それぞれ1時間単位で申し込める。
詳細については、出願者に交付する『受験心得』を参照すること。

受付日時		使用できる日にち・時間帯	
2/14 (火)	15:00 ~ 16:00	2/14 (火) 17:00~20:00	2/15 (水) 7:00 ~ 8:00
2/15 (水)	8:30 ~ 16:00	2/15 (水) 17:00~20:00	2/16 (木) 7:00 ~ 8:00
2/16 (木)	8:30 ~ 16:00	2/16 (木) 17:00~20:00	2/17 (金) 7:00 ~ 8:00
2/17 (金)	受付はありません		

一般推薦入試については本校が指定する実技試験直前練習以外には練習室の貸出しは行わない。

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

合格発表

- 発表日 一般推薦入学試験・・・・・・・・・・ 1月23日(月) 19時予定
一般入学試験・・・・・・・・・・ 2月20日(月) 16時予定
- 発表方法 (1)校内掲示(本校仙川キャンパス玄関前または玄関ホール)
(2)本校のホームページ
合格者の「受付番号」を発表する。
- 書類の交付 合格者には入学手続書類(合格者心得)を合格発表と同日に速達で郵送する。

入学手続

- 手続締切日 一般推薦入学試験合格者・・・・・・ **2017年1月31日(火)** [必着]
一般入学試験合格者・・・・・・ **2017年2月28日(火)** [必着]
※ 締切日までに手続を完了しない場合は、入学資格を失う。

提出書類等

- (1)身元保証書(本校が指定する用紙)
(2)住民票(本人のみ記載のもの)または住民票記載事項証明書
(3)写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
(4)「入学手続納付金払込用紙」の副票
(5)誓約書(本校が指定する用紙)
(6)預金口座振替依頼書
(7)保健調査票(予防接種歴確認書) 他

※ 入学手続の詳細は『合格者心得』で通知する。

※ 手続を完了した者には、入学許可証を交付する。

入学金・授業料等(2016年度実績)

入学金	500,000円 *1	運営維持費	年額	300,000円	*2
		施設拡充費	年額	127,600円	*2
		授業料	年額	820,800円	[月額 68,400円] *3
		教材費	年額	10,800円	[月額 900円] *3
		保健費	年額	3,000円	[月額 250円] *3
		生徒会費	年額	2,400円	*4
		P T A会費	年額	1,800円	*5
		P T A入会金		1,000円	*6

*1. 入学手続時には、入学金500,000円のみを納入する。

*2. 運営維持費300,000円、施設拡充費127,600円は、毎年度4月に納入する。

*3. 授業料等は入学後、原則として毎月26日に指定の銀行口座から自動振替にて納入する。

*4. 生徒会費は4月に前期分1,200円、10月に後期分1,200円を納入する。

*5. P T A会費は4月に前期分900円、10月に後期分900円を納入する。

*6. P T A入会金は4月に1,000円を納入する。(1年生時のみ)

*7. 授業料には専門実技レッスン受講料と、必修の副科ピアノ受講料および理論科ピアノ受講料(作曲のみ)が含まれている。ただし、外国人教師等の特別レッスンは、レッスン料を別に徴収することがある。また、選択副科受講料、室内楽・二重奏ソナタ受講料は、受講者から別に徴収する。

*8. 経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専門実技の成績が極めて優秀であると認められた生徒は、「特待生」として入学金・運営維持費・授業料などを一部または全額免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な高校生、大学生、ソリスト・ディプロマ・コース生を対象に、各種の奨学金制度が充実している。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な生徒・学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回（9月末）給付する。

原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠、実状を考慮し決定する。

申請方法：入学前と入学後の申請がある。

①入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ入学試験志願票とともに提出する。給付の可否についての審査結果は、2017年2月20日頃(予定)に郵送する。

採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

②入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末に掲示する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた生徒・学生に対し、給付される。

◎桐朋学園音楽部門芸術教育整備・拡充資金及び奨学基金奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た生徒・学生に給付される。

2. その他の奨学金 等

◎各都道府県・地方公共団体奨学金

保護者の居住地があることを条件とし奨学金を貸与、申込方法・条件・内容等は各都道府県によって異なる。

都道府県奨学金 問い合わせ先一覧：

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/010.htm

◎企業、交通遺児育英会等の奨学金

企業・交通遺児育英会など民間団体の主管する奨学金（貸与型・給付型など）。

◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)

<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布駅より徒歩15分の場所に学生会館を用意しています。

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額 78,000円
その他	入居時に諸経費として、50,000円が必要です。 光熱水費は自己負担となります。

2017年度の募集について

- (1) 募集人数は約20名。希望者多数の場合は抽選とする。
(大学生、ディプロマ・コース生を含む)
- (2) 入居希望者は入試要項に添付されている所定用紙にて入学試験志願票とともに提出する。
- (3) 入居の可否通知は、合格発表日後1週間以内に合格者宛に発送する。

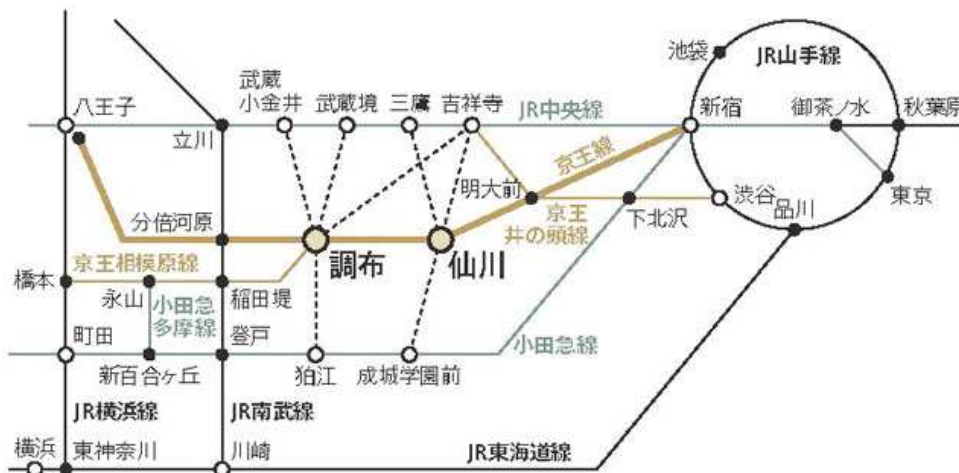
宿泊施設

本学が斡旋しているものではありませんが、京王線沿線にはおおむね下記の宿泊施設があります。予約・問い合わせは直接宿泊施設にお願いします。

新宿駅周辺	多数あります。
調布駅周辺	調布クレストンホテル、ホテル・ツインズ調布
飛田給駅周辺	調布アーバンホテル、ホテル武蔵野の森
東府中駅周辺	マロウドイン東京
府中駅周辺	府中アーバンホテル、ホテル コンチネンタル、シティテル府中

交通機関案内図

■ 交通案内 < 調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より快速で約18分 >



京王線以外からのルート

< 調布キャンパス >

- **小田急線「狛江」駅発** (バスの所要時間約20分)
小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩10～12分
- **JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発** (バスの所要時間約30～40分)
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス停下車 徒歩10分

< 仙川キャンパス >

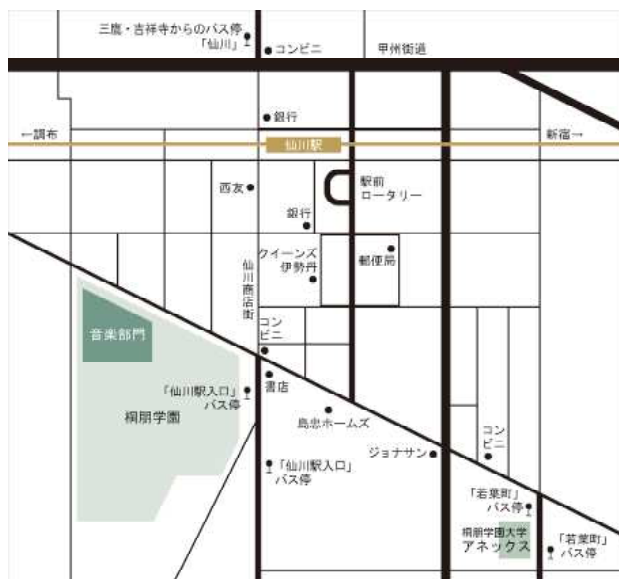
- **小田急線「成城学園前」駅発** (バスの所要時間約15分)
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分
- **JR中央線「吉祥寺」駅発** (バスの所要時間約25分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分
- **JR中央線「三鷹」駅発** (バスの所要時間約30分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分

◆ 調布キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「調布」駅より 徒歩10分

◆ 仙川キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「仙川」駅より 徒歩5分